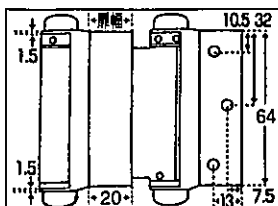


両開用適用扉

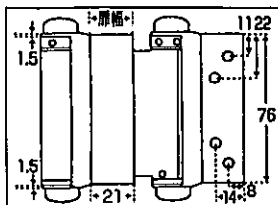
64m/m

2枚吊り
耐荷重量：5kgS
ビスサイズ：3.5×22



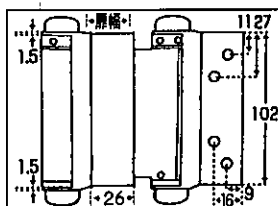
76m/m

2枚吊り
耐荷重量：7kgS
ビスサイズ：3.5×22



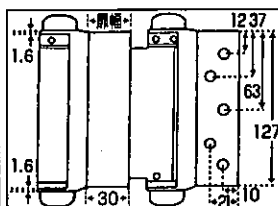
102m/m

2枚吊り
耐荷重量：10kgS
ビスサイズ：3.5×22



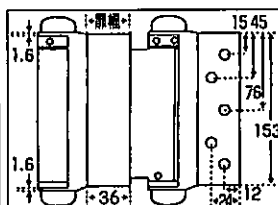
127m/m

2枚吊り
耐荷重量：13kgS
ビスサイズ：3.8×25



153m/m

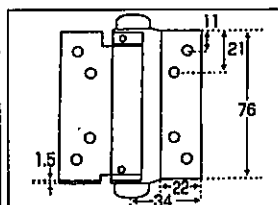
2枚吊り
耐荷重量：15kgS
ビスサイズ：3.8×25



片開用適用扉

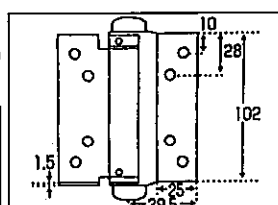
76m/m

2枚吊り
耐荷重量：7kgS
ビスサイズ：3.5×22



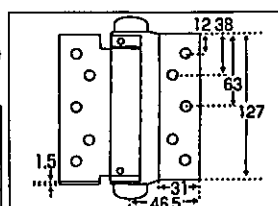
102m/m

2枚吊り
耐荷重量：10kgS
ビスサイズ：3.5×22



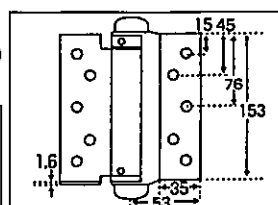
127m/m

2枚吊り
耐荷重量：16kgS
ビスサイズ：3.8×25



153m/m

2枚吊り
耐荷重量：20kgS
ビスサイズ：3.8×25

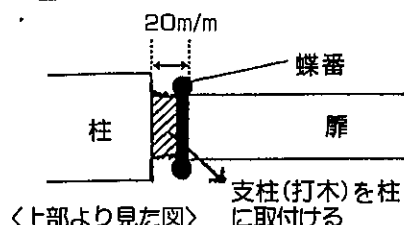


自由蝶番

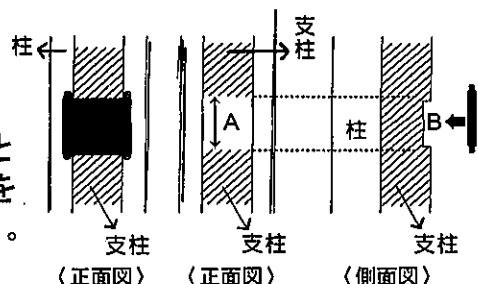
自由蝶番取付方法

1 耐荷重量の表示は、通常の開閉で使用する場合の数値です。自由蝶番の特徴であるバネ等の複合品の為、特に必要外の荷重を掛けたり、強い衝撃を与えると破損する場合があります。

2 両開用の蝶番の取付の場合には、必ず、高さが20mm位で幅が扉幅と同じ位の支柱(補助板)を柱に取付ける必要があります。



3 取付が終わった支柱に蝶番の羽根の高さ(A)と蝶番の羽根の厚み(B)を支柱に掘込んで下さい。

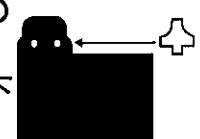


蝶番の羽根の部分支柱に掘込まずに取付ける方法もあります。

4 掘込みの終わった溝に蝶番を取付ける際、調節穴を上にして取付けて下さい。



5 扉を支柱に取付けが終わると調整棒で扉の適当な開閉スピードを捜して調整ピン(凸)を上下両方の蝶番の調節穴に差し込んで下さい。



6 調整ピンはバネが十分に働く位置で止めて下さい。バネが効いていないと蝶番が垂れ下がります。

ご注意

- * ステンレス製品にも構成パーツの一部(バネ・調整ピン等)の材質に鉄を使用しております。ステンレス製、鉄製共、屋外等腐食の起こりやすい環境下では使用しないでください
- * 自由蝶番は、構成部品が多く、複雑な動作をするデリケートな製品(溶接部分やバネの使用等)ですので、上記取付適用重量を守り、通常開閉以上の負担をかけないでください。